

定期点検整備の記録表

定期点検整備を実施した場合には、サービス工場においてスタンプをもらってください。定期点検整備を実施していない場合には保証を受ける権利を失うことにもなりますので、確実に実施してください。

1年目	1か月無料点検	サービス工場のスタンプ
実施日	26年12月1日	大阪トヨペット株式会社 大阪トヨペット株式会社名神吹田店 茨木市宇野辺1丁目8番10号
点検時の総走行距離	1006 km	

1年目	6か月無料点検	サービス工場のスタンプ
実施日	27年4月22日	大阪トヨペット株式会社 大阪トヨペット株式会社名神吹田店 茨木市宇野辺1丁目8番10号
点検時の総走行距離	5558 km	

1年目	12か月定期点検	サービス工場のスタンプ
実施日	H27年11月7日	大阪トヨペット株式会社 大阪トヨペット株式会社名神吹田店 茨木市宇野辺1丁目8番10号
点検時の総走行距離	10279 km	

2年目	12か月定期点検	サービス工場のスタンプ
実施日	年 月 日	
点検時の総走行距離	km	

3年目	24か月定期点検	サービス工場のスタンプ
実施日	年 月 日	
点検時の総走行距離	km	

4年目	12か月定期点検	サービス工場のスタンプ
実施日	年 月 日	
点検時の総走行距離	km	

法令ならびにトヨタが指定・推奨する、定期点検整備・日常点検の未実施および定期交換部品の未交換に起因する不具合は保証修理致しません。

5年目	24か月定期点検	サービス工場のスタンプ
実施日	年 月 日	
点検時の総走行距離	km	

6年目	12か月定期点検	サービス工場のスタンプ
実施日	年 月 日	
点検時の総走行距離	km	

7年目	24か月定期点検	サービス工場のスタンプ
実施日	年 月 日	
点検時の総走行距離	km	

8年目	12か月定期点検	サービス工場のスタンプ
実施日	年 月 日	
点検時の総走行距離	km	

9年目	24か月定期点検	サービス工場のスタンプ
実施日	年 月 日	
点検時の総走行距離	km	

10年目	12か月定期点検	サービス工場のスタンプ
実施日	年 月 日	
点検時の総走行距離	km	

1 か月無料点検結果

トヨタの整備基準にもとづいて、1 か月点検整備を次のとおり行いました。

車種	点検時の走行距離
アルファード	1006

様

号30

査年

7

(号)

占

日

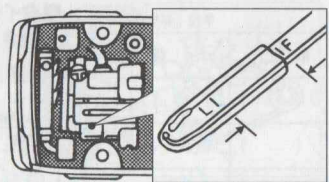
日

日

1

エンジン

■エンジン・オイルの量



■冷却水の量



■エンジン・オイルのよごれ

・異状なし ()

■エンジン・オイルの漏れ

・異状なし ()

■燃料漏れ

・異状なし ()

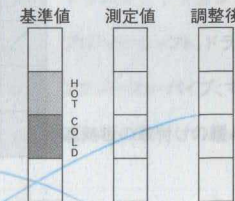
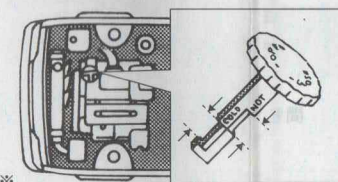
■低速及び加速の状態

・異状なし ()

2

ステアリング

※ ■パワー・ステアリングの油量



※

■パワー・ステアリングの油漏れ

・異状なし ()

※

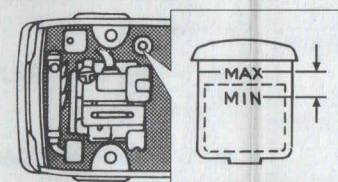
■ギヤ・ボックスの油漏れ

・異状なし ()

3

ブレーキ

■ブレーキの液量



■ブレーキ・ペダルの遊び

・異状なし ()

■ブレーキ・ペダルの踏み残り

・異状なし ()

■パーキング (駐車)・ブレーキの引きしろ (踏みしろ)

基準値	測定値	調整後
5 ノッチ ~ 8 ノッチ	5 ノッチ	5 ノッチ

■ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態

・異状なし ()

4

その他

■クラッチの液量

・異状なし ()

■トランスミッションの油漏れ

・異状なし ()

■トランスファの油漏れ

・異状なし ()

■デフレンシャルの油漏れ

・異状なし ()

※

■油圧式車高調整装置の油漏れ

・異状なし ()

5

■お客様のご用命事項など

※は装着車のみ点検してください。

感圧複写紙につき下じきをご使用ください。

点検日	実施工場
26 年 12 月 1 日	神田

次回の 6 か月無料点検は

27 年 5 月 1 日

お客様

12か月定期点検整備記録簿

分解整備記録簿

該当なし	異常なし	交換	締付	T	清掃	C
調整	A	修理	△	分解	○	給油
					L	省略
						P

点検の結果及び(分解)整備の概要

■エンジン・ルーム点検

☒	パワー・ステアリング・ベルトの緩み、損傷
☒	スパーク・プラグの状態
☒	点火時期
☒	ディストリビュータのキャップの状態
☒	バッテリーのターミナル部の緩み、腐食
☒	排気ガスの色
☒	CO、HCの濃度
☒	エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷
☒	ファン・ベルトの緩み、損傷
☒	冷却水の漏れ

■室内点検

☒	ブレーキ・ペダルの遊び
☒	ブレーキ・ペダルの踏み込んだときの床板とのすき間
☒	ブレーキのきき具合
☒	パーキング・ブレーキレバー（ペダル）の引きしろ（踏みしろ）
☒	パーキング・ブレーキのきき具合
☒	クラッチ・ペダルの遊び
☒	クラッチ・ペダルの切れたときの床板とのすき間

■足廻り点検

☒	ブレーキ・マスタ・シリンダの液漏れ
☒	ブレーキ・ホイール・シリンダの液漏れ
☒	ブレーキ・ディスク・キャリパの液漏れ
☒	ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
☒	ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗
☒	ブレーキ・ディスクとパッドとのすき間
☒	ブレーキ・パッドの摩耗
☒	タイヤの空気圧
☒	タイヤの亀裂、損傷
☒	タイヤの溝の深さ、異状摩耗
☒	スベア・タイヤの空気圧
☒	ホイールのボルト、ナットの緩み

■下廻り点検

☒	エンジン・オイルの漏れ
☒	ブレーキ・ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態
☒	トランスミッション、トランスファのオイルの漏れ
☒	トランスミッション、トランスファのオイルの量
☒	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの連結部の緩み
☒	エグゾースト・パイプ、マフラの取付けの緩み、損傷、腐食
☒	遮熱板の取付けの緩み、損傷、腐食

■その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品

エンジンオイル
~~ブレーキ・マスタ・シリンダの液漏れ~~
~~ブレーキ・ホイール・シリンダの液漏れ~~
~~ブレーキ・ディスク・キャリパの液漏れ~~
~~ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間~~
~~ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗~~
~~ブレーキ・ディスクとパッドとのすき間~~
~~ブレーキ・パッドの摩耗~~
~~タイヤの空気圧~~
~~タイヤの亀裂、損傷~~
~~タイヤの溝の深さ、異状摩耗~~
~~スベア・タイヤの空気圧~~
~~ホイールのボルト、ナットの緩み~~

☐ は走行距離によって省略できる項目です

トヨタが指定する厳しい使われ方をした場合（シビアコンディション）の点検項目

☒ ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み ロッド、アーム類のボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷 ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷	☒ ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷 サスペンションの取付部、連結部の緩み、がた サスペンション各部の損傷	☒ ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷 燃料漏れ
---	--	---

依頼者の氏名又は名称及び住所

氏名又は名称

麻藤 昭仁

住所

大阪府森河内西1丁目3番31号30

メンテナンスに関するアドバイス

型 式

初年度登録又は初年度検査年

ANH20

H26.11.07

自動車登録番号又は車両番号（左記の無い車両にあっては、車台番号）

大阪38240005

点検又は整備を実施した者の氏名又は名称及び住所

氏名又は名称

大阪トヨペット株式会社名神吹出店

住所

茨木市宇野辺1丁目8番10号

認証又は指定番号

点検の年月日

大指大第2077号

近運整備大第9576号

H27 年 11 月 4 日

点検又は分解整備時の総走行距離

整備を完了した年月日

10279 km

H27 年 11 月 4 日

整備主任者の氏名

中江 祐太

12か月定期点検整備記録簿

分解整備記録簿

該当なし	／	異常なし	レ	交換	×	締付	T	清掃	C
調整	A	修理	△	分解	○	給油	L	省略	P

点検の結果及び(分解)整備の概要

■室内点検

☒	ブレーキ・ペダルの遊び
☒	ブレーキ・ペダルの踏み込んだときの床板とのすき間
☒	ブレーキのきき具合
☒	パーキング・ブレーキ・レバー(ペダル)の引きしろ(踏みしろ)
☒	パーキング・ブレーキのきき具合
☒	クラッチ・ペダルの遊び
☒	クラッチ・ペダルの切れたときの床板とのすき間

■下廻り点検

☒	エンジン・オイルの漏れ
☒	ブレーキ・ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態
☒	トランスミッション、トランスファのオイルの漏れ
☒	トランスミッション、トランスファのオイルの量
☒	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの連結部の緩み
☒	エグゾースト・パイプ、マフラの取付けの緩み、損傷、腐食
☒	遮熱板の取付けの緩み、損傷、腐食

■エンジン・ルーム点検

☒	パワー・ステアリング・ベルトの緩み、損傷
☒	スパーク・プラグの状態
☒	点火時期
☒	ディストリビュータのキャップの状態
☒	バッテリーのターミナル部の緩み、腐食
☒	排気ガスの色
☒	CO、HCの濃度
☒	エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷
☒	ファン・ベルトの緩み、損傷
☒	冷却水の漏れ

■足廻り点検

☒	ブレーキ・マスタ・シリンダの液漏れ
☒	ブレーキ・ホイール・シリンダの液漏れ
☒	ブレーキ・ディスク・キャリパの液漏れ
☒	ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
☒	ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗
☒	ブレーキ・ディスクとパッドとのすき間
☒	ブレーキ・パッドの摩耗
☒	タイヤの空気圧
☒	タイヤの亀裂、損傷
☒	タイヤの溝の深さ、異状摩耗
☒	スベア・タイヤの空気圧
☒	ホイールのボルト、ナットの緩み

■その他必要となった点検整備の内容及び 主な交換部品

エンジンオイル交換

☐ は走行距離によって省略できる項目です

トヨタが指定する厳しい使われ方をした場合(シビアコンディション)の点検項目

☒ ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み	☒ ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷	☒ ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷
☒ ロッド、アーム類のボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷	☒ サスペンションの取付部、連結部の緩み、がた	☒ 燃料漏れ
☒ ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷	☒ サスペンション各部の損傷	

依頼者の氏名又は名称及び住所

氏名又は名称

齋藤 昭仁

様

住所

大阪府東淀川区西1丁目
3-31-301

メンテナンスに関するアドバイス

型 式

初年度登録又は初年度検査年

ANH20W

H26.11

自動車登録番号又は車両番号(左記の無い車両にあっては、車台番号)

大阪38245

点検又は整備を実施した者の氏名又は名称及び住所

氏名又は名称

大阪トヨペット株式会社

大阪トヨペット株式会社東成テクノショップ
住所 大阪市東成区東今里2丁目7番41号

認証又は指定番号

点検の年月日

認番
証号 19698

H30 年 11 月 14 日

点検又は分解整備時の総走行距離

整備を完了した年月日

43280

km

H30 年 11 月 14 日

整備主任者の氏名

王利伸夫

お客様控

指定整備記録簿 (点検整備記録簿) (分解整備記録簿)

点検の結果及び整備の概要 ☐...1年毎 ☒+☒...2年毎

区分及び号	点検良	V	交換	X	締付	T	該当なし
分解調整	○	修理	△	給油	L		
	A	清掃	C	省略	P		

運転席で	ハンドル	ブレーキ・ペダル	駐車ブレーキ機構	クラッチ・ペダル	ボンネットを開けて	冷却装置	ギヤ・ボックス及びパワーステアリング装置
	操作具合	遊び及び踏み込んだときの床板とのすき間	(レバーの)引きしろ(ペダルの踏みしろ)ブレーキの効き具合	ペダルの遊び及び切れたときの床板とのすき間		ファン・ベルトの緩み及び損傷 水漏れ	●取付けの緩み ベルトの緩み及び損傷 パワステの油漏れ及び油量
車を回って	マスタ・シリンダ	点火装置 (白金、イリジウムプラグは省略可)	バッテリー等	エア・クリーナ	エンジンオイル	公害発散防止装置	
	機能、摩耗及び損傷 液漏れ	○点火プラグの状態(電極のすき間、汚れ、損傷、摩耗等) 点火時期 ディストリビュータのキャップの状態 (キャップ・ロータの汚れ、コード差込部の緩み、さび)	ターミナル部の接続状態 (緩み、腐食) 電気配線接続部の緩み及び損傷	○エア・クリーナ・エレメントの状態 (汚れ、詰まり、損傷)	潤滑装置の油漏れ	二次空気供給装置の機能 排気ガス再循環装置の機能 減速時排気ガス減少装置の機能 配管の損傷及び取付け状態	
車の下から	タイヤ	クリップ・ボルト	フロント・ホイール	リヤ・ホイール	燃料蒸発ガス排出抑止装置	プロペラ・シャフト還元装置	
	○タイヤの状態 (空気圧、亀裂、損傷、異常な摩耗、溝の深さ)	○ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み	●フロント・ホイール・ベアリングのがた	●リヤ・ホイール・ベアリングのがた	配管等の損傷 チャコール・キャニスタの詰まり及び損傷 チェック・バルブの機能	メーターリング・バルブの状態 配管の損傷	
テスト等で	ブレーキ	ブレーキ・ディスクとパッド及びディスク・キャリパ	サスペンション類	ショック・アブソーバ	トランスミッション及びトランスファ		
	ホース・パイプの漏れ、損傷、取付状態	○ディスクとパッドのすき間/○パッドの摩耗 ディスクの摩耗及び損傷/ディスク・キャリパの液漏れ ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷	取付部及び連結部の緩み、がた、損傷	油漏れ及び損傷	○油漏れ及び油量		
分解点検	プロペラ・シャフト及びドライブ・シャフト	デファレンシャル	エグゼースト・パイプ及びマフラー及びCO等発散防止装置	車枠、車体	燃料装置	かじ取り装置のロッド及びアーム類	
	○連結部の緩み 自在継手部のダスト・ブーツの亀裂及び損傷	●油漏れ及び油量	○マフラー等(通熱板を含む)取付けの緩み、及び損傷 マフラーの機能 触媒反応方式等排気ガス減少装置の取付けの緩み及び損傷	緩み及び損傷	燃料漏れ	●緩み、がた及び損傷 ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂及び損傷	
分解点検	ホイール・アライメント	ブレーキ・テスト等	エンジン	ホイール・シリンダ	ブレーキ・ドラム及びブレーキ・シュー	タイヤの溝の深さ(1.6mm以上)	
	●ホイール・アライメント	ブレーキの効き具合	排気の状態 (CO、HC、白煙、黒煙等)	液漏れ 機能、摩耗及び損傷	○ドラムとライニングとのすき間 ○シューの摺動部分及びライニングの摩耗 ドラムの摩耗及び損傷	前輪 左 6.6mm 右 6.6mm 後輪 左 6.5mm 右 6.4mm ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ 前輪 左 8.0mm 右 8.0mm 後輪 左 6.0mm 右 6.0mm	

この欄はお客様のご承諾を頂き実施した点検・整備項目です。

〔I〕「日常点検」項目 (除：定期点検実施項目)

- ☒ エンジンのかかり具合、異音、低速・加速の状態
- ☒ ウィンド・ウォッシャの液量と噴射状態
- ☒ ワイパーの払拭状態
- ☒ ブレーキ・オイルの量
- ☒ バッテリーの液量
- ☒ 冷却水の量
- ☒ エンジン・オイルの量
- ☒ ランプ類・方向指示器の点灯、点滅、汚れ、損傷

〔II〕特殊 (使用状況・構造装置) な自動車に対し点検・整備が必要と認められ実施した項目

①特殊な使用状況車

- ☒ かじ取り装置 (ギヤ・ボックスの機能、ナックル又はかじ取り車輪の旋回動作)
- ☒ 制動装置 (倍力装置の機能)
- ☒ 走行装置 (リム又はディスク・ホイールの損傷)
- ☒ 緩衝装置 (シャシバネ又はショック・アブソーバの緩衝能力)
- ☒ 動力伝達装置 (クラッチ、トランスミッション又はトランスファの断続機構、変速機構又は動力分配機構の機能、プロペラ・シャフト又はドライブ・シャフトの回転時の状態)

②特殊な構造装置車

この欄は目視等による検査において整備が必要となった項目です。

- ・チェンジ位置・警告器の識別表示、警告器の音色・音量、灯火装置の識別表示・性能、施設装置、座席ベルト・ヘッドレスト・インストルメントパネルの状態、非常信号用具の有無、後写鏡・デフロスタ機能、計器の作用
- ・タイヤ等の回転部分の突出、車体の突起、最大積載量の表示、排気管の向き、前面ガラス等にステッカー等の貼付
- ・プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン・継手部・ベアリングのがた、ギヤボックスの油漏れ、ナックル連結部・ショック・アブソーバ取付部のがた、燃料タンクの取付、損傷
- ・ブレーキのロッド及びケーブル類の緩み、がた及び損傷
- ・燃料装置のリンク機構及びスロットル・バルブ及びチョーク・バルブの状態
- ・バッテリー液の比重
- ・その他

※ ☐ で囲んだ部分は整備した箇所です。

○...1年間の走行距離5千km以下、●2年間の走行距離1万km以下、それぞれ前回点検したことが明確である場合、1回に限り省略可。

整備主任者の氏名 廣津 功武

【作業指示書】

整備内容 (作業指示)	整備内容 (作業指示)	整備内容 (作業指示)	追加整備内容 (作業指示)	交換部品	数	交換部品	数
ブレーキ・ライニング F左右 R左右 清掃・交換	ブレーキホース全数 X	A/Tオイル [7.9] X		エンジン・オイル		別紙明細	
ディスク・パッド F左右 R左右 清掃・交換	サイドブレーキ A	D/Fオイル [] X		ブレーキ・オイル			
ブレーキ・オイル 交換	スパークプラグ X	クリーンエアフィルター X		LLC (ラジエータ液)			
エンジン・オイル 交換	バッテリー液 [本] E	ブリーダキャップ X		オイルフィルタ			
	ワイパーゴム 前・後 X						

自家用乗用車等の定期点検基準 (別表第六)

ファン・ベアリング 調整・交換	タイヤローテーション・バランス A	ディスク・パッド
LLC (ラジエータ液) 補充 交換	フュージ X	ブレーキ・ライニング
エア・エレメント 清掃・交換	下廻りスチーム洗浄	錆止塗料

検査機器等による検査

制動力欄の計測・判定値は、N・kg、前照灯の計測・判定値は、すれ違い用・走行用〔いずれかに○印〕で表示しています。

制動力

前	右	2870	N	軸重	左右差	N	取付高さ
			kg	1125	70	kg	
軸	左	2940	N		0.07	N/kg	
			kg			%	
後	右	2900	N	軸重	左右差	N	光
			kg	880	100	kg	
軸	左	3000	N		0.12	N/kg	
			kg	6.70		%	
計		11710	N	車両重量	5.84	N/kg	軸
			kg			%	
手動		4780	N	2005	2.38	N/kg	光
			kg			%	

前照灯

右	すれ違い灯	78.5	cm
左		79.0	cm
下		5.0	cm
左・右		7.5	cm
主×100			cd
副×100			cd
測定値	%		m ⁻¹

前部雾灯

速度計の誤差	4.3	km/h
指示針の振れ		km/h
タイヤの振れ	良・否	
サイド・スリップ		
イン・アウト	0.4	mm
測定値	%	m ⁻¹

警音器

聴感・テスト	良	デシベル
定常走行騒音		
聴感・テスト	良	デシベル
排気騒音		
聴感・テスト	良	デシベル
CO濃度 (アイドリング時)	0.01	%
HC濃度 (アイドリング時)		
黒煙・粒子状物質		
視認 (空ぶかし)・テスト		
測定値	%	m ⁻¹

依頼者の依頼事項

車検整備一式

オーダーNO.

79596

目視等による検査

保安基準に適合...☒ 装置がない場合...☒

・構造

☒ 最低地上高

☒ 最大安定傾斜角度

☒ 最小回転半径

☒ 原動機及び動力伝達装置

☒ 走行装置

☒ 操縦装置

☒ 制動装置

☒ 緩衝装置

☒ 燃料装置及び電気装置

☒ 車枠及び車体

☒ 連結装置

☒ 乗車装置及び物品積載装置

☒ 前面ガラスその他の窓ガラス

☒ 騒音防止装置

☒ ばい煙等の発散防止装置

☒ 灯火装置及び反射器

☒ 警報装置

☒ 指示装置

☒ 視野を確保する装置

☒ 走行距離計その他の計器

☒ 防火装置

☒ 内圧容器及びその附属装置

☒ その他

自動車登録番号又は車両番号	登録 (交付) 年月日	初度登録 (検査) 年月	自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状	車名
トヨタ 30K 5	26年 11月 7日	26年 11月	普通・小型・軽	乗用・貨物・特種	自家用・事業用	箱型・ステーションワゴン・バン	トヨタ
型式	乗車定員	最大積載量	車両重量	車両総重量	車台番号	原動機の型式	
DBA-ANH20W	5-8-2(5)		1950	2335	ANH20-8354087	2A2	
長さ	幅	高さ	総排気量又は定格出力	燃料の種類	型式指定番号	類別区分番号	その他
492	184	187	2.36	ガソリン・軽油・LPG・その他			
			自動車検査証の有効期間	点検又は分解整備時の総走行距離			
			26年 11月 6日	52827.5			

メンテナンスに関するアドバイス

次回定期点検整備実施日 令和 2年 11月 6日

依頼者 (使用者) の氏名又は名称

藤 昭仁

住所

大阪市生野区新今里 6丁目 14-16

指定自動車整備事業者の氏名又は名称、事業場の所在地及び指定番号・認証番号

大阪トヨペット株式会社東成テクノショップ

大阪市東成区東今里2丁目7番41号

指定番号 近指大第1593号

認証番号 19698

実施者

月/日

受付

高山 11/4

点検

廣瀬 11/4

作業

大橋 11/4

整備完了

月 日

検査の年月日

令和 2年 11月 4日

自動車検査員の氏名

廣瀬 功 武

保安基準適合証の番号

19900738

保安基準適合 標章交付

有・無

限定保安基準適合証の番号

近畿運輸局監修

近畿地区自動車整備連絡協議会 (不許複製)

点検整備記録簿
特定整備記録簿

依頼者(使用者)の氏名又は名称

藤 昭仁

住所

大阪市生野区新今里6-14-16

自動車登録番号又は車両番号	※初度登録(検査)年月	※車 名
大阪30K70005	H26年11月	人79
※型 式	車台番号(登録・車両番号のない自動車のみ記載)	※原動機の型式
ANH20	ANH20-8354087	2A2

点検の結果及び整備の概要

□…1年毎 □+□…2年毎

運転席で	ハンドル 操作具合	ブレーキ・ペダル 遊び及び踏み込んだときの床板とのすき間	駐車ブレーキ機構 (レバーの)引きしろ(ペダルの踏みしろ)ブレーキの効き具合	クラッチ・ペダル ペダルの遊び及び切れたときの床板とのすき間	ボンネットを開けて	冷却装置 ファン・ベルトの緩み及び損傷 水漏れ	ギヤ・ボックス及びパワーステアリング装置 ●取付けの緩み ベルトの緩み及び損傷 パワーステアリングの油漏れ及び油量
車を下から	マスタ・シリンダ	点火装置 (白金、イリジウムプラグは省略可)	バッテリー等	エア・クリーナ	エンジンオイル	公害発散防止装置	
車を下から	機能、摩耗及び損傷 液漏れ	○点火プラグの状態(電極のすき間、汚れ、損傷、摩耗等) 点火時期 ディストリビュータのキャップの状態(キャップローターの汚れ、コード差込部の緩み、さび)	ターミナル部の接続状態(緩み、腐食) 電気配線接続部の緩み及び損傷	○エア・クリーナ・エレメントの状態(汚れ、詰まり、損傷)	潤滑装置の油漏れ	二次空気供給装置の機能 排気ガス再循環装置の機能 減速時排気ガス減少装置の機能 配管の損傷及び取付け状態	
車を回って	タイヤ	クリップ・ボルト	フロント・ホイール	リヤ・ホイール	燃料蒸発ガス排出抑制装置	プロパイガス還元装置	
車を回って	○タイヤの状態(空気圧、亀裂、損傷、異常な摩耗、溝の深さ)	○ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み	●フロント・ホイール・ベアリングのがた	●リヤ・ホイール・ベアリングのがた	配管等の損傷 チャコール・キャニスタの詰まり及び損傷 チェック・バルブの機能	メタリング・バルブの状態 配管の損傷	
車を回って	ブレーキ	ブレーキ・ディスクとパッド及びディスク・キャリパ	サスペンション類	ショック・アブソーバ	トランスミッション及び外ランス		
車を回って	ホース・パイプの漏れ、損傷、取付状態	○ディスクとパッドのすき間/○パッドの摩耗 ディスクの摩耗及び損傷/ディスク・キャリパの液漏れ ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷	取付部及び連結部の緩み、がた、損傷	油漏れ及び損傷	○油漏れ及び油量		
車を回って	プロペラ・シャフト及びドライブ・シャフト	デファレンシャル	エグゾースト・パイプ及びマフラー及びCO等発散防止装置	車枠、車体	燃料装置	かじ取り装置のロッド及びアーム類	
車を回って	○連結部の緩み 自在継手部のダスト・ブーツの亀裂及び損傷	●油漏れ及び油量	○マフラー等(通熱板を含む)取付けの緩み、及び損傷 マフラーの機能 触媒反応方式等排ガス減少装置の取付けの緩み及び損傷	緩み及び損傷	燃料漏れ	●緩み、がた及び損傷 ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂及び損傷	
車を回って	ホイール・アライメント	ブレーキ・テスト等	エンジン	ホイール・シリンダ	ブレーキ・ドラム及びブレーキ・シュー		
車を回って	●ホイール・アライメント	ブレーキの効き具合	排気の状態(CO、HC、白煙、黒煙等)	液漏れ 機能、摩耗及び損傷	○ドラムとライニングとのすき間 ○シューの摺動部分及びライニングの摩耗 ドラムの摩耗及び損傷		

この欄はお客様のご承諾を頂き、保安基準適合維持のため実施した点検・整備項目です。

〔Ⅰ〕「日常点検」項目(除:定期点検実施項目)

- エンジンのかかり具合
異音・低速・加速の状態
- ウインド・ウオッシャーの液量と噴射状態
- ワイパーの払拭状態
- ブレーキ・オイルの量
- バッテリーの液量
- 冷却水の量
- エンジン・オイルの量
- ランプ類・方向指示器の点灯、点滅、汚れ、損傷

〔Ⅱ〕その他、保安基準適合維持のため点検・整備が必要と認められた項目

- チェンジ位置・警告音の識別表示、警告音の音色・音量、灯火装置の識別表示・性能、施錠装置、座席ベルト・ヘッドレスト・インストルメントパネルの状態、非常信号用具の有無、後视镜・デフロスタの機能、計器の作用
- タイヤ等の回転部分の突出、車体の突起、最大積載量の表示、排気管の向き、前面ガラス等にステッカー等の貼付
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン・継手部・ベアリングのがた、ギヤボックスの油漏れ、ナックル連結部・ショック・アブソーバ取付部のがた、燃料タンクの取付、損傷
- ブレーキのロッド及びケーブル類の緩み、がた及び損傷
- 燃料装置のリンク機構及びスロットル・バルブ及びチヨーク・バルブの状態
- バッテリー液の比重
- その他

〔Ⅱ〕の中で点検を必要としない場合は抹消する。

交換部品	数
エンジン・オイル	43ℓ
ブレーキ・オイル	
LLC(ラジエータ液)	
オイル・フィルタ	1個
エア・エレメント	
ディスク・パッド	
ブレーキ・ライニング	
錆塗料	
フロントワイパー	2本

CO、HC濃度(アイドリング時)	
CO	0.02 %
HC	1 ppm

タイヤ溝の深さ(1.6mm以上)

前輪	左 5.8 mm 右 5.8 mm
後輪	左 5.4 mm 右 5.2 mm
前輪	左 2.0 mm 右 2.0 mm
後輪	左 4.5 mm 右 4.5 mm

○…1年間の走行距離5千km以下、それぞれ前回点検したことが明確である場合、1回に限り省略可
●…2年間の走行距離1万km以下、

区分及び記号	メンテナンスに関するアドバイス	自動車特定整備事業者の氏名又は名称、事業場の所在地及び認証番号	次回の定期点検整備実施時期	点検又は特定整備時の総走行距離
点検良 V 交換 X 特定整備 O 修理 △ 調整 A 清掃 C 締付 T 給油 L 該当なし / 省 略 P		大阪トヨペット株式会社 大阪トヨペット株式会社東成テクノショップ 大阪市東成区東今里2丁目7番41号	3年10月20日 整備主任者の氏名 田中 優輝	60283 Km 点検年月日 2年10月21日 整備完了年月日 2年10月21日

認証番号 19698

近畿運輸局 監修

近畿地区自動車整備連絡協議会(不許複製)

自家用乗用車等の定期点検基準(別表第六)

※印:記載省略可

指定整備記録簿 (点検整備記録簿) (特定整備記録簿)

点検の結果及び整備の概要

1年毎 2年毎

点検良	交換	締付	T	該当なし
特定整備	修理	給油	L	
調整	清掃	省略	P	

運転席で	ハンドル	ブレーキ・ペダル	駐車ブレーキ機構	クラッチ	その他	ボンネットを開けて	冷却装置	ギヤ・ボックス及び パワーステアリング装置
	操作具合	遊び及び踏み込んだときの床板とのすき間	(レバーの)引きしろ (ペダルの踏みしろ) ブレーキの効き具合	ペダルの遊び及び 切れたときの床板とのすき間	★車載故障診断装置の診断の結果	ファンベルトの緩み及び損傷 水漏れ	●取付けの緩み ベルトの緩み及び損傷 パワステの油漏れ及び油量	
車を回って	マスタ・シリンダ	点火装置 (白金、イリジウム・プラグは省略可)	バッテリー等	エア・クリーナ	エンジンオイル	公害発散防止装置		
	機能、摩耗及び損傷 液漏れ	○点火プラグの状態(電極のすき間、汚れ、損傷、摩耗等) 点火時期 ディストリビュータのキャップの状態 (キャップ・ロータの汚れ、コード差込部の緩み、さび)	ターミナル部の接続状態 (緩み、腐食) 電気配線接続部の緩み及び損傷	○エア・クリーナ・エレメントの状態 (汚れ、詰まり、損傷)	潤滑装置の油漏れ	二次空気供給装置の機能 排気ガス再循環装置の機能 減速時排気ガス減少装置の機能 配管の損傷及び取付け状態		
車の下から	タイヤ	クリップ・ボルト	フロント・ホイール	リヤ・ホイール	燃料蒸発ガス排出抑止装置	プロペラシャフト還元装置		
	○タイヤの状態 (空気圧、亀裂、損傷、異状な摩耗、溝の深さ)	○ホイールナット及び ホイール・ボルトの緩み	●フロント・ホイール・ ベアリングのがた	●リヤ・ホイール・ベア リングのがた	配管等の損傷 チャコール・キャニスタの詰 まり及び損傷 チェック・バルブの機能	メーターリング・バルブの状態 配管の損傷		
テスタ等で	ブレーキ	ブレーキ・ディスクとパッド 及びディスク・キャリパ	サスペンション類	ショック・アブソーバ	トランスミッション及びトランスファ			
	ホース・パイプの漏れ、 損傷、取付状態	○ディスクとパッドのすき間／○パッドの摩耗 ディスクの摩耗及び損傷／ディスク・キャリパの液漏れ ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷	取付部及び連結部の緩み、がた 及び損傷	油漏れ及び損傷	○油漏れ及び油量			
分解点検	プロペラ・シャフト 及びドライブ・シャフト	デファレンシャル	エグゾースト・パイプ及びマフラ 及びCO等発散防止装置	車枠、車体	燃料装置	かじり装置のロッド 及びアーム類		
	○連結部の緩み 自在継手部のダストブ ーツの亀裂及び損傷	●油漏れ及び油量	○マフラ等(過熱板を含む)取付けの緩み、及び損傷 マフラの機能 触媒反応方式等排ガス減少装置の 取付けの緩み及び損傷	緩み及び損傷	燃料漏れ	●緩み、がた及び損傷 ボール・ジョイントのダストブ ーツの亀裂及び損傷		
分解点検	ホイール・アライメント	ブレーキ・テスタ等	エンジン	ホイール・シリンダ	ブレーキ・ドラム及びブレーキ・シュー	タイヤの溝の深さ(1.6mm以上)		
	●ホイール・アライメント	ブレーキの効き具合	排気の状態 (CO、HC、白煙、黒煙等)	液漏れ 機能、摩耗及び損傷	○ドラムとライニングとのすき間 ○シューの摺動部分及びライニング の摩耗 ドラムの摩耗及び損傷	前輪 左 5.1 mm 右 5.4 mm 後輪 左 4.6 mm 右 4.7 mm ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ 前輪 左 8.0 mm 右 8.0 mm 後輪 左 5.0 mm 右 5.0 mm		

この欄はお客様のご承諾を頂き実施した点検・整備項目です。

〔I〕「日常点検」項目 (除：定期点検実施項目)

- エンジンのかかり具合、異音、低速・加速の状態
- ワイパーの拭拭状態
- バッテリーの液量
- エンジン・オイルの量
- ウインド・ウォッシャの液量と噴射状態
- ブレーキ・オイルの量
- 冷却水の量
- ランプ類・方向指示器の点灯、点滅、汚れ、損傷

〔II〕特殊 (使用状況・構造装置) な自動車に対し点検・整備が必要と認められ実施した項目

①特殊な使用状況車

- かじり装置 (ギヤ・ボックスの機能、ナックル又はかじり車輪の旋回動作)
- 制動装置 (倍力装置の機能)
- 走行装置 (リム又はディスク・ホイールの損傷)
- 緩衝装置 (シャシばね又はショック・アブソーバの緩衝能力)
- 動力伝達装置 (クラッチ、トランスミッション又はトランスファの断続機構、変速機構又は動力分配機構の機能、プロペラ・シャフト又はドライブ・シャフトの回転時の状態)
- 原動機 (運転状態)

②特殊な構造装置車

この欄は目視等による検査において整備が必要となった項目です。

- チェンジ位置・警告器の識別表示、警告器の音色・音量、灯火装置の識別表示・性能、施設装置、座席ベルト・ヘッドレスト・インストルメントパネルの状態、非常信号用具の有無、後写鏡・デフロスタ機能、計器の作用
- タイヤ等の回転部分の突出、車体の突起、最大積載量の表示、排気管の位置、取付状態及び損傷、前面ガラス等にステッカー等の貼付
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン・継手部・ベアリングのがた、ギヤボックスの油漏れ、ナックル連結部・ショック・アブソーバ取付部のがた、燃料タンクの取付、損傷
- ブレーキのロッド及びケーブル類の緩み、がた及び損傷
- 燃料装置のリンク機構及びスロットル・バルブ及びチョーク・バルブの状態
- バッテリー液の比重
- その他

※ 〇で囲んだ部分は整備した箇所です。

その他★の点検は、原動機、制動装置、アンチロック・ブレーキシステム及びエアバッグ、衝突被害軽減制御装置、自動命令型舵舵機能及び自動運行装置に係る識別表示の点検をもって代えることができる。

【作業指示書】

○…1年間の走行距離5km以下、●…2年間の走行距離1万km以下、それぞれ前回点検したことが明確である場合、1回に限り省略可。

整備内容 (作業指示)	整備内容 (作業指示)	整備内容 (作業指示)	追加整備内容 (作業指示)	交換部品	数	交換部品	数
ブレーキ・ライニング F左右 R左右 清掃・交換	ブレーキホース全数 X	A/Tオイル [- 0] X		エンジン・オイル		別紙明細	
ディスク・パッド F左右 R左右 清掃・交換	サイドブレーキ A	D/Fオイル [] X		ブレーキ・オイル			
ブレーキ・オイル 交換	スパークプラグ X	クリーンエアフィルター X		LLC(ラジエータ液)		電子制御装置整備	
エンジン・オイル 交換	バッテリー液 [本] 7	ブリーダキャップ X		オイル・フィルタ		(内)：構内外注、(外)：外注	
	ワイパーゴム 前・後 X						

整備主任者の氏名 田中 王一

自家用乗用車等の定期点検基準 (別表第6)

ファン クーラーベルト	調整・交換	タイヤローテーション フュージ	バランス-A	ディスクパッド	☒ ブレーキ ☒ バンパ
LLC(ラジエータ液)	補充 交換			ブレーキライニング	☒ エーミング
エア・エレメント	清掃・交換	下廻りスチーム洗浄		錆止塗料	

検査機器等による検査 制動力欄の計測・判定値は、N・kg、前照灯の計測・判定値は、すれ違い用・走行用〔いずれかに○印〕で表示しています。

制 動 力				前 照 灯		前 部 霧 灯		警 音 器	
前	右	N 軸重	左右差	N 取付高さ	右	左	cd	聴感・テスト	デシベル
	左	N 軸重	N/kg	%	cm	cm	速度計の誤差	定常走行騒音	
後	右	N 軸重	左右差	N 光	下	下	km/h	聴感・テスト	デシベル
	左	N 軸重	N/kg	%	cm	cm	指示針の振れ	排気騒音	
計	右	N 軸重	左右差	N 軸	左	右	km/h	聴感・テスト	デシベル
	左	N 軸重	N/kg	%	cm	cm	CO濃度(アイドリング時)	0.01 %	
手 動	右	N 軸重	左右差	N/kg	主×100	主×100	タイヤの振れ	HC濃度(アイドリング時)	
	左	N 軸重	N/kg	%	副×100	副×100	サイド・スリップ	黒煙・粒子状物質	
走行テスト等の 方法と結果	右	N 軸重	左右差	N/kg	主×100	主×100	視認(空ぶかし)・テスト	%	
	左	N 軸重	N/kg	%	副×100	副×100	視認(空ぶかし)・テスト	m ⁻¹	
測定値				%	測定値	%	測定値	%	
m ⁻¹				%	m ⁻¹	%	m ⁻¹	%	

依頼者の依頼事項
車検整備一式

オーダーNO. 96869

目視等による検査 保安基準に適合…☒ 装置がない場合…☒

・構造

☒最低地上高

☒最大安定傾斜角度

☒最小回転半径

・装置

☒原動機及び動力伝達装置

☒走行装置

☒操縦装置

☒制動装置

☒緩衝装置

☒燃料装置及び電気装置

☒車枠及び車体

☒連結装置

☒乗車装置及び物品積載装置

☒前面ガラスその他の窓ガラス

☒騒音防止装置

☒ばい煙等の発散防止装置

☒灯火装置及び反射器

☒警報装置

☒指示装置

☒視野を確保する装置

☒走行距離計その他の計器

☒防火装置

☒内圧容器及びその附属装置

☒その他

自動車登録番号又は車両番号		登録(交付)年月日		初度登録(検査)年月		自動車の種別		用途		自家用・事業用の別		車体の形状		車名	
たにわ30k75		平成26年11月7日		平成26年11月		普通・小型・軽		乗用・貨物・特種		自家用・事業用		箱型・ステーションワゴン・バン		トヨタ	
型式		乗車定員		最大積載量		車両重量		車両総重量		車台番号		原動機の型式			
DBA-ANH20W		5・8・2(5)		kg		1950 kg		2335 kg		ANH20-8354087		2A2			
長さ		幅		高さ		総排気量又は定格出力		燃料の種類		型式指定番号		類別区分番号		自動車検査証の有効期間	
492 cm		184 cm		189 cm		2.36 Kw		ガソリン・軽油・LPG・その他						令和3年11月6日	
														点検又は特定整備時の総走行距離	
														69665 km	
														その他	
														—	

メンテナンスに関するアドバイス	依頼者(使用者)の氏名又は名称		実施者		月/日		
	齋藤 昭仁		高崎		11/3		
	住所		点検		11/3		
	大阪府大阪市生野区新今里6丁目14-16		作業		11/3		
指定自動車整備事業者の氏名又は名称、事業場の所在地及び指定番号・認証番号		大阪トヨペット株式会社東成テクノショップ		整備完了		11月3日	
大阪市東成区東今里2丁目7番41号		指定番号 近指大第1593号		認証番号 19698			
次回定期点検整備実施日		令和4年11月					

近畿運輸局監修

近畿地区自動車整備連絡協議会(不許複製)

指定整備記録簿 (点検整備記録簿) (特定整備記録簿)

点検の結果及び整備の概要 ☐ …1年毎 ☒ + ☐ …2年毎

区分及び号	点検良	交換	締付	T	該当なし
特定整備	○	修理	△	給油	L
調整	A	清掃	C	省略	P

運転席で	ハンドル	ブレーキ・ペダル	駐車ブレーキ機構	クラッチ	その他	ボンネットを開けて	冷却装置	ギヤ・ボックス及びパワーステアリング装置
	操作具合	遊び及び踏み込んだときの床板とのすき間	(レバーの)引きしろ(ペダルの踏みしろ)ブレーキの効き具合	ペダルの遊び及び切れたときの床板とのすき間	★車載式故障診断装置の診断の結果		ファン・ベルトの緩み及び損傷 水漏れ	●取付けの緩み ベルトの緩み及び損傷 パステの油漏れ及び油量
車を回って	マスタ・シリンダ	点火装置	バッテリー等	エア・クリーナ	エンジンオイル	公害発散防止装置		
	機能、摩耗及び損傷 液漏れ	○点火プラグの状態(電極のすき間、汚れ、損傷、摩耗等)点火時期 ディストリビュータのキャップの状態(キャップ・ロータの汚れ、コード差込部の緩み、さび)	ターミナル部の接続状態(緩み、腐食) 電気配線接続部の緩み及び損傷	○エア・クリーナ・エレメントの状態(汚れ、詰まり、損傷)	潤滑装置の油漏れ	二次空気供給装置の機能 排気ガス再循環装置の機能 減速時排気ガス減少装置の機能 配管の損傷及び取付け状態		
車の下から	タイヤ	クリップ・ボルト	フロント・ホイール	リヤ・ホイール	燃料蒸発ガス排出抑止装置	プロパイガス還元装置		
	○タイヤの状態(空気圧、亀裂、損傷、異状な摩耗、溝の深さ)	○ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み	●フロント・ホイール・ベアリングのがた	●リヤ・ホイール・ベアリングのがた	配管等の損傷 チャコール・キャニスタの詰まり及び損傷 チェック・バルブの機能	メーター・ランプの状態 配管の損傷		
分解点検	ブレーキ	ブレーキ・ディスクとパッド及びディスク・キャリパ	サスペンション類	ショック・アブソーバ	トランスミッション及びトランスファ			
	ホース・パイプの漏れ、損傷、取付状態	○ディスクとパッドのすき間／○パッドの摩耗 ディスクの摩耗及び損傷／ディスク・キャリパの液漏れ ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷	取付部及び連結部の緩み、がた及び損傷	油漏れ及び損傷	○油漏れ及び油量			
テスト等で	プロペラ・シャフト及びドライブ・シャフト	デファレンシャル	エグゾースト・パイプ及びマフラー及びCO等発散防止装置	車枠、車体	燃料装置	かじ取り装置のロッド及びアーム類		
	○連結部の緩み 自在継手部のダストブーツの亀裂及び損傷	●油漏れ及び油量	○マフラー等(連熱板を含む)取付けの緩み、及び損傷 マフラーの機能 触媒反応方式等排気ガス減少装置の取付けの緩み及び損傷	緩み及び損傷	燃料漏れ	●緩み、がた及び損傷 ボール・ジョイントのダストブーツの亀裂及び損傷		
分解点検	ホイール・アライメント	ブレーキ・テスト等	エンジン	ホイール・シリンダ	ブレーキ・ドラム及びブレーキシュー	タイヤの溝の深さ(1.6mm以上)		
	●ホイール・アライメント	ブレーキの効き具合	排気の状態(CO、HC、白煙、黒煙等)	液漏れ 機能、摩耗及び損傷	○ドラムとライニングとのすき間 ○シューの摺動部分及びライニングの摩耗 ドラムの摩耗及び損傷	前輪 左 1.0 mm 右 1.0 mm 後輪 左 1.0 mm 右 1.0 mm ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ 前輪 左 1.0 mm 右 1.0 mm 後輪 左 1.0 mm 右 1.0 mm		

この欄はお客様のご承諾を頂き実施した点検・整備項目です。

〔Ⅰ〕「日常点検」項目 (除：定期点検実施項目)

- ☒ エンジンのかかり具合、異音、低速・加速の状態
- ☒ ウィンド・ウォッシャの液量と噴射状態
- ☒ ワイパーの払拭状態
- ☒ プレーキ・オイルの量
- ☒ バッテリーの液量
- ☒ 冷却水の量
- ☒ エンジン・オイルの量
- ☒ ランプ類・方向指示器の点灯、点滅、汚れ、損傷

〔Ⅱ〕特殊 (使用状況・構造装置) な自動車に対し点検・整備が必要と認められ実施した項目

①特殊な使用状況車

- ☒ かじ取り装置 (ギヤ・ボックスの機能、ナックル又はかじ取り車輪の旋回動作)
- ☒ 制動装置 (倍力装置の機能)
- ☒ 走行装置 (リム又はディスク・ホイールの損傷)
- ☒ 緩衝装置 (シャシばね又はショック・アブソーバの緩衝能力)
- ☒ 動力伝達装置 (クラッチ、トランスミッション又はトランスファの断続機構、変速機構又は動力分配機構の機能、プロペラ・シャフト又はドライブ・シャフトの回転時の状態)
- ☐ 原動機 (運転状態)

②特殊な構造装置車

この欄は目視等による検査において整備が必要となった項目です。

- ・チェンジ位置・警告器の識別表示、警告器の音色・音量、灯火装置の識別表示・性能、施設装置、座席ベルト・ヘッドレスト・インストルメントパネルの状態、非常信号用具の有無、後写鏡・デフロスタ機能、計器の作用
- ・タイヤ等の回転部分の突出、車体の突起、最大積載量の表示、排気管の位置、取付状態及び損傷、前面ガラス等にステッカー等の貼付
- ・プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン・継手部・ベアリングのがた、ギヤボックスの油漏れ、ナックル連結部・ショック・アブソーバ取付部のがた、燃料タンクの取付、損傷
- ・ブレーキのロッド及びケーブル類の緩み、がた及び損傷
- ・燃料装置のリンク機構及びミッション・バルブ及びチョーク・バルブの状態
- ・バッテリー液の比重
- ・その他

※ ☐ で囲んだ部分は整備した箇所です。

その他★の点検は、原動機、制動装置、アンチロック・ブレーキシステム及びエアバッグ、衝突被害軽減制動制御装置、自動命令型操舵機能及び自動運行装置に係る識別表示の点検をもって代えることができる。

○…1年間の走行距離5千km以下、●…2年間の走行距離1万km以下、それぞれ前回点検したことが明確である場合、1回に限り省略可。

整備主任者の氏名 田中 玉一

整備内容 (作業指示)	整備内容 (作業指示)	整備内容 (作業指示)	追加整備内容 (作業指示)	交換部品	数	交換部品	数
ブレーキ・ライニング F左右 清掃・交換 R左右	ブレーキホス全数 X	A/Tオイル [- 0] X	クーシ 12	エンジン・オイル	430	右左ステアリング	22
ディスク・パッド F左右 清掃・交換 R左右	サイドブレーキ A	D/Fオイル [] X		ブレーキ・オイル	800	フロントホイール	4
ブレーキ・オイル 交換	スパークプラグ X	クリーンエアフィルター X		LLC (ラジエータ液)	300	電子制御装置整備	
エンジン・オイル 交換	バッテリー液 [本] L	ブリーダキャップ X		オイル・フィルタ	12	(内)：構内外注、(外)：外注	
	ワイパーゴム 前・後 X					カメラ	
						レーダー	

自家用乗用車等の定期点検基準 (別表第6)

オイルフィルター ファン クーラーベルト	調整・交換	タイヤローテーション フュージ	バランス X	ディスク・パッド	☐ バンパ
LLC(ラジエータ液)	補充 交換	下廻りシステム洗浄		ブレーキライニング	☐ エーミング
エア・エレメント	清掃・交換			錆止塗料	

検査機器等による検査 制動力欄の計測・判定値は、N・kg、前照灯の計測・判定値は、ずれ違い用・走行用〔いずれかに○印〕で表示しています。

制 動 力				前 照 灯		前 部 霧 灯	警 音 器
前	右	N 軸重	左右差	N 取付高さ	右	左	聴感・テスト
		3210 kg	90 kg		77.1 cm	77.0 cm	デシベル
軸	左	N 軸重	左右差	N/kg			速度計の誤差
		3120 kg	0.08 %				定常走行騒音
後	右	N 軸重	左右差	N	下	下	聴感・テスト
		2230 kg	150 kg		4.3 cm	4.7 cm	デシベル
軸	左	N 軸重	左右差	N/kg	左・右	右・左	指示針の振れ
		2380 kg	0.18 %				排気騒音
計		N 車両重量		N/kg	主×100	主×100	聴感・テスト
		10940 kg	5.43 %		2.4 cm	1.8 cm	デシベル
手 動		N 軸重	左右差	N/kg	副×100	副×100	CO濃度(アイドリング時)
		4330 kg	2.15 %				0.01 %
走行テスト等の方法と結果				度	主×100	主×100	HC濃度(アイドリング時)
					副×100	副×100	タイヤの振れ
							良・否
							4~2~特殊 4 ppm
							サイド・スリップ
							黒煙・粒子状物質
							視認(空ぶかし)・テスト
							0.5 mm
自動車検査証、登録識別情報等通知書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合				1 測定値	2 測定値	3 測定値	%
							m ⁻¹

依頼者の依頼事項
車検整備一式

オーダーNO.

14593

目視等による検査 保安基準に適合…☒ 装置がない場合…☒

- 構造 ☒ 最低地上高 ☒ 最大安定傾斜角度 ☒ 最小回転半径 - 装置 ☒ 原動機及び動力伝達装置 ☒ 走行装置 ☒ 操縦装置 ☒ 制動装置 ☒ 緩衝装置 ☒ 燃料装置及び電気装置 ☒ 車枠及び車体 ☒ 連結装置	☒ 乗車装置及び物品積載装置 ☒ 前面ガラスその他の窓ガラス ☒ 騒音防止装置 ☒ ばい煙等の発散防止装置 ☒ 灯火装置及び反射器 ☒ 警報装置 ☒ 指示装置 ☒ 視野を確保する装置 ☒ 走行距離計その他の計器 ☒ 防火装置 ☒ 内圧容器及びその附属装置 ☒ その他
--	--

自動車登録番号又は車両番号	登録(交付)年月日	初度登録(検査)年月	自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状	車名
なほ30K 5	26年11月7日	26年11月	普通・小型・軽	乗用・貨物・特種	自家用・事業用	箱型・ステーションワゴン・バン	トヨタ
型 式	乗車定員	最大積載量	車両重量	車両総重量	車台番号	原動機の型式	
08A-ANH20K	5(7)2(5)	— kg	1950 kg	2335 kg	ANH20-8354087	2A2	
長 さ	幅	高 さ	総排気量又は定格出力	燃料の種類	型式指定番号	類別区分番号	自動車検査証の有効期間
492 cm	184 cm	187 cm	2336 Kw	ガソリン・軽油・LPG・その他	—	—	令和5年11月6日
				点検又は特定整備時の総走行距離	その他		
				83713 km	—		

メンテナンスに関するアドバイス
次回定期点検整備実施日 令和6年11月7日

依頼者(使用者)の氏名又は名称
藤 昭仁
住所
大阪府大阪市生野区新今里 6丁目14-16
指定自動車整備事業者の氏名又は名称、事業場の所在地及び指定番号・認証番号
大阪トヨベット株式会社東成テクノショップ
大阪市東成区東今里2丁目7番41号
指定番号 近指大第1593号 認証番号 イ9698

実施者	月/日
受 付	11/8
点 検	11/8
作 業	11/8
整備完了	11月8日

検 査 の 年 月 日
令和5年11月8日
自動車検査員の氏名
田中 玉一
保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号
23900837
保安基準適合標章の交付
有・無
限定保安基準適合証の番号

近畿運輸局監修

近畿地区自動車整備連絡協議会(不許複製)

2年定期点検用整備記録簿
特定整備記録簿（写）

点検の結果及び整備の概要

自家 乗用	点検 良好	交換	X	調整	A	清掃	C	省略	P
	特定	O	修理	△	締付	T	給油 (水)	L	該当 なし

依頼者（使用者） の氏名又は名称	齋藤 昭仁	自動車登録番号又は車両番号	なにわ 30K つ 5
住所	大阪府大阪市生野区新今里6丁目14-16	車台番号	ANH20-8354087

別表
6

エンジン・ルーム点検	
■パワー・ステアリング ベルトの緩み、損傷 ★取付けの緩み オイルの漏れ オイルの量	■冷却装置 ファンベルトの緩み、損傷 冷却水の漏れ ■燃料装置 燃費漏れ
■点火装置 ☆火花プラグの状態 ●点火時期 ●ディストリビュータのキャップの状態	■はい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置 メーターリング・バルブの状態 ブローバイ・ガス還元装置の漏れ 燃費漏れガス排出防止装置の漏れ チャコール・キャニスタの詰まり、損傷 燃費漏れガス排出防止装置のチェック・バルブの機能 触媒反り方式の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷 二次空気供給装置の機能 排気ガス再循環装置の機能 減速時排気ガス減少装置の機能 一酸化炭素等吸着防止装置の配管の損傷、取付状態
■バッテリー、電気配線 ターミナル部の緩み、腐食による接続不良 電気配線の接続部の緩み、損傷 ■エンジン 排気ガスの色 CO、HCの濃度 ☆エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷	

室内点検	
■ハンドル 操作具合 遊び、ガタ	■パーキング・ブレーキ・レバー（ペダル） 引きしろ（踏みしろ） パーキング・ブレーキの効き具合
■ブレーキ・ペダル 遊び 踏み込んだときの床板とのすき間 ブレーキの効き具合	■クラッチ・ペダル 遊び 切れたときの床板とのすき間

メンテナンスに関するアドバイス	
タイヤの前輪	左 6.5 右 6.7
後輪	左 5.8 右 5.8
CO濃度 アイドリング時	0.02 %
HC濃度 アイドリング時	4 ppm

（注）●OBDとは車載式故障診断装置を示す。☆印の点検は、1年5,000km以下の走行距離の場合は省略できる項目。★印の点検は、2年10,000km以下の走行距離の場合は省略できる項目。●印の点検は、ディストリビュータを有する自動車に限る。◆印の点検は、圧縮天然ガス及び圧縮水素を燃料とする自動車に限り、大型特殊自動車及び検査対象外軽自動車を除く。

足廻り点検	
■かじ取り車輪 ★ホイール・アライメント ■ショック・アブソーバ 損傷、オイルの漏れ ■サスペンション 取付部、連結部の緩み、ガタ、損傷 ■ブレーキ・ディスク、ドラム ☆ディスクとパッドとのすき間 ☆ブレーキ・パッドの摩耗 ディスクの摩耗、損傷 ☆ドラムとライニングとのすき間 ☆ブレーキシューの摺動部分、ライニングの摩耗 ■ブレーキのマスター・シリンダ、ホイール・シリンダ、ディスク・キャリパ マスター・シリンダの液漏れ ホイール・シリンダの液漏れ ディスク・キャリパの液漏れ ディスク・キャリパの摩耗、損傷 ホイール・シリンダの摩耗、損傷 ディスク・キャリパの摩耗、損傷	■ホイール ★タイヤの空気圧 ★タイヤの亀裂、損傷 ★タイヤの溝の深さ、異常な摩耗 ★ボルト、ナットの緩み ★フロント・ホイール・ベアリングのガタ ★リア・ホイール・ベアリングのガタ ドラムの摩耗、損傷 ブレーキ・ライニング マスター・シリンダ ホイール・シリンダ ディスク・キャリパ

下廻り点検	
■エンジン・オイル 漏れ ■ステアリング・ギヤ・ボックス ★取付けの緩み ■ステアリングのロッド、アーム類 ★緩み、ガタ、損傷 ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷	■トランスミッション、トランスファ ★オイルの漏れ、量 トランスミッション ■プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト ★連結部の緩み ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷

自動車特定整備事業者の 氏名又は名称	大阪トヨペット株式会社 大阪トヨペット株式会社東成テクノショップ
事業場の所在地	大阪市東成区東今里2-7-41
認定番号	近運整認大 第9698A号
（指定番号）	（近指大 第1593号）

下廻り点検	
■デファレンシャル ★オイルの漏れ ★オイルの量 デファレンシャル プロペラ・シャフト ドライブ・シャフト ■ブレーキ・ホース、パイプ 漏れ、損傷、取付状態 ■エグゾースト・パイプ、マフラ ★取付けの緩み、損傷、腐食 ★逆熱板の取付けの緩み、損傷、腐食 マフラの機能 エグゾースト・パイプ マフラ	■外廻り点検 ■フレーム、ボデー 緩み、損傷 ■電気自動車専用装置点検 空調ヒーター液の漏れ 絶縁抵抗モニタリング警告灯の点灯 充電装置の充電ポートの異物確認 充電装置の充電ポートの損傷 充電装置のゴムキャップ内部の確認 高圧ガスを燃料とする燃料装置等 導管及び継手部のガス漏れ及び損傷 ◆ガス容器及びガス容器付属品の損傷 ガス容器取付部の緩み及び損傷

日常点検	
ブレーキ液の量 バッテリー液の量 冷却水の量 エンジン・オイルの量 エンジンのかかり具合、異音 低速と加速の状態 ヘッドランプ、ストップ・ランプ、ウインカー等の点灯、汚れ、損傷 ウインド・ウオッシュ液の量、噴射状態 ワイパーの動き取り状態	X X レ / レ / レ / レ / レ / X X レ / X X

車載式故障診断装置点検	
○OBDの診断の結果 厳しい使用方をする車の点検項目 ■かじ取り装置 ギヤ・ボックスの機能 ナックル又はかじ取車輪の旋回動作 ■制動装置 倍力装置の機能 ■走行装置 リム又はホイール・ディスクの損傷 ■緩衝装置 シャシばねの緩衝能力 ショック・アブソーバの緩衝能力 ■動力伝達装置 クラッチの断続機構の機能 トランスミッションの変速機構の機能 トランスファの動力分配機構の機能 プロペラ・シャフトの回転時の状態 ドライブ・シャフトの回転時の状態 ■原動機の運転状態	ブレーキフルード リヤワイパーゴム リヤディスクブレーキパッド ドアミラーのウインカーをノーマルに復元 0.5 1 実施 一式 実施 ／

点検の年月日	令和07年10月24日
整備完了年月日	令和07年10月25日
点検（整備）時の総走行距離	97,677 km
整備主任者の氏名	與那城 正由

今回の定期点検は令和08年11月です。ご来店をお待ちしております。

（注）この記録簿は、二年間携行保存して下さい。

使用者用

点検整備記録簿 特定整備記録簿

点検の結果及び整備の概要 ☒...1年毎 ☐...2年毎

運転席で	ハンドル	ブレーキ・ペダル	駐車ブレーキ機構	クラッチ	その他	ボンネットを開けて	冷却装置	ギヤ・ボックス及び パワーステアリング装置
	操作具合	遊び及び踏み込んだときの床板とのすき間	(レバーの)引きしろ (ペダルの踏みしろ) ブレーキの効き具合	ペダルの遊び及び切れたときの床板とのすき間	★車載式故障診断装置の診断の結果	ファンベルトの緩み及び損傷 水漏れ	●取付けの緩み ベルトの緩み及び損傷 パワステの油漏れ及び油量	
車を回って	マスタ・シリンダ	点火装置 (白金、イリジウム・プラグは省略可)	バッテリー等	エア・クリーナ	エンジンオイル	公害発散防止装置		
	機能、摩耗及び損傷 液漏れ	○点火プラグの状態(電極のすき間、汚れ、損傷、摩耗等) 点火時期 ディストリビュータのキャップの状態 (キャップ・ロータの汚れ、コード差込部の緩み、さび)	ターミナル部の接続状態(緩み、腐食) 電気配線接続部の緩み及び損傷	○エア・クリーナ・エレメントの状態(汚れ、詰まり、損傷)	潤滑装置の油漏れ	二次空気供給装置の機能 排気ガス再循環装置の機能 減速時排気ガス減少装置の機能 配管の損傷及び取付け状態		
車の下から	タイヤ	クリップ・ボルト	フロント・ホイール	リヤ・ホイール	燃料蒸発ガス排出抑制装置	ブローパイプ還元装置		
	○タイヤの状態(空気圧、亀裂、損傷、異状な摩耗、溝の深さ)	○ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み	●フロント・ホイール・ベアリングのがた	●リヤ・ホイール・ベアリングのがた	配管等の損傷 チャコール・キャニスタの詰まり及び損傷 チェック・バルブの機能	メーターリング・バルブの状態 配管の損傷		
テスト等で	ブレーキ	ブレーキ・ディスクとパッド及びディスク・キャリパ	サスペンション類	ショック・アブソーバ	トランスミッション及びトランスファ			
	ホース・パイプの漏れ、損傷、取付状態	○ディスクとパッドのすき間／○パッドの摩耗 ディスクの摩耗及び損傷／ディスク・キャリパの液漏れ ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷	取付部及び連結部の緩み、がた及び損傷	油漏れ及び損傷	○油漏れ及び油量			
分解点検	プロペラ・シャフト及びドライブ・シャフト	デファレンシャル	エグゾースト・パイプ及びマフラー及びCO等発散防止装置	車軸、車体	燃料装置	かじり装置のロッド及びアーム類		
	○連結部の緩み 自在継手部のダストブーツの亀裂及び損傷	●油漏れ及び油量	○マフラー等(遮熱板を含む)取付けの緩み、及び損傷 マフラーの機能 触媒反応方式等排ガス減少装置の取付けの緩み及び損傷	緩み及び損傷	燃料漏れ	●緩み、がた及び損傷 ボール・ジョイントのダストブーツの亀裂及び損傷		
テスト等で	ホイール・アライメント	ブレーキ・テスト等	エンジン	ホイール・シリンダ	ブレーキドラム及びブレーキシュー			
	●ホイール・アライメント	ブレーキの効き具合	排気の状態(CO、HC、白煙、黒煙等)	液漏れ 機能、摩耗及び損傷	○ドラムとライニングとのすき間 ○シューの摺動部分及びライニングの摩耗 ドラムの摩耗及び損傷			

区分及び記号	メンテナンスに関するアドバイス
点検良	✓ 交換 ×
特定整備	○ 修理 △
調整	A 清掃 C
締付	T 給油 L
該当なし	／ 省略 P

依頼者(使用者)の氏名又は名称

住居 藤 昭 仁

大阪市生野区新今里 6-14-16

自動車特定整備事業者の氏名又は名称、事業場の所在地及び認証番号

大阪トヨペット株式会社
大阪トヨペット株式会社東成テクノショップ
大阪市東成区東今里2丁目7番41号

認証番号 19698

自動車登録番号又は車両番号	※初度登録(検査)年月	※車 名
なにわ 30k 70005	H26 年 11 月	トヨタ
※型 式	車台番号(登録・車両番号のない自動車のみ記載)	※原動機の型式
ANH20w-VL3 BXSP ANH20- 835X087		2A2

この欄はお客様のご承諾を頂き、保安基準適合維持のため実施した点検・整備項目です。

〔I〕「日常点検」項目 (除：定期点検実施項目)

- ☒ エンジンのかかり具合 異音・低速・加速の状態
- ☒ ウインド・ウォッシャの液量と噴射状態
- ☒ ワイパーの拭き状態
- ☒ ブレーキ・オイルの量
- ☒ バッテリーの液量
- ☒ 冷却水の量
- ☒ エンジン・オイルの量
- ☒ ランプ類・方向指示器の点灯、点滅、汚れ、損傷

〔II〕その他、保安基準適合維持のため点検・整備が必要と認められた項目

- ☒ チェンジ位置・警告器の識別表示、警告器の音色・音量、灯火装置の識別表示・性能、施設装置、座席ベルト・ヘッドレスト・インストルメントパネルの状態、非常信号用具の有無、後写鏡・デフロスタの機能、計器の作用
- ☒ タイヤ等の回転部分の突出、車体の突起、最大積載量の表示、排気管の位置、取付状態及び損傷、前面ガラス等にステッカー等の貼付
- ☒ プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン・継手部・ベアリングのがた、ギヤボックスの油漏れ、ナックル連結部・ショック・アブソーバ取付部のがた、燃料タンクの取付、損傷
- ☒ ブレーキのロッド及びケーブル類の緩み、がた及び損傷
- ☒ 燃料装置のリンク機構及びスロットル・バルブ及びチョーク・バルブの状態
- ☒ バッテリー液の比重
- ☒ その他

〔II〕の中で点検を必要としない場合は抹消する。

その他★の点検は、原動機、制動装置、アンチロック・ブレーキシステム及びエアバッグ、衝突被害軽減制動制御装置、自動命令型操舵機能及び自動運行装置に係る識別表示の点検をもって代えることができる。

CO、HC濃度(アイドリング時)

CO	0.02 %
HC	4 ppm

タイヤ溝の深さ(1.6mm以上)

前輪	左 4.6 mm 右 5.8 mm
後輪	左 4.4 mm 右 5.2 mm

ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

前輪	左 6.0 mm 右 6.0 mm
後輪	左 4.0 mm 右 8.0 mm

○...1年間の走行距離5千km以下、それぞれ前回点検したことが明確である場合、1回に限り省略可
●...2年間の走行距離1万km以下、

次回の定期点検整備実施時期	点検又は特定整備時の総走行距離
R5 年 11 月 6 日	76526 Km
整備主任者の氏名	点検年月日
大崎 明	R4 年 10 月 23 日
	整備完了年月日
	R4 年 10 月 23 日

近畿運輸局監修

近畿地区自動車整備連絡協議会 (不許複製)

自家用乗用車等の定期点検基準 (別表第6)

※印...記載省略可